



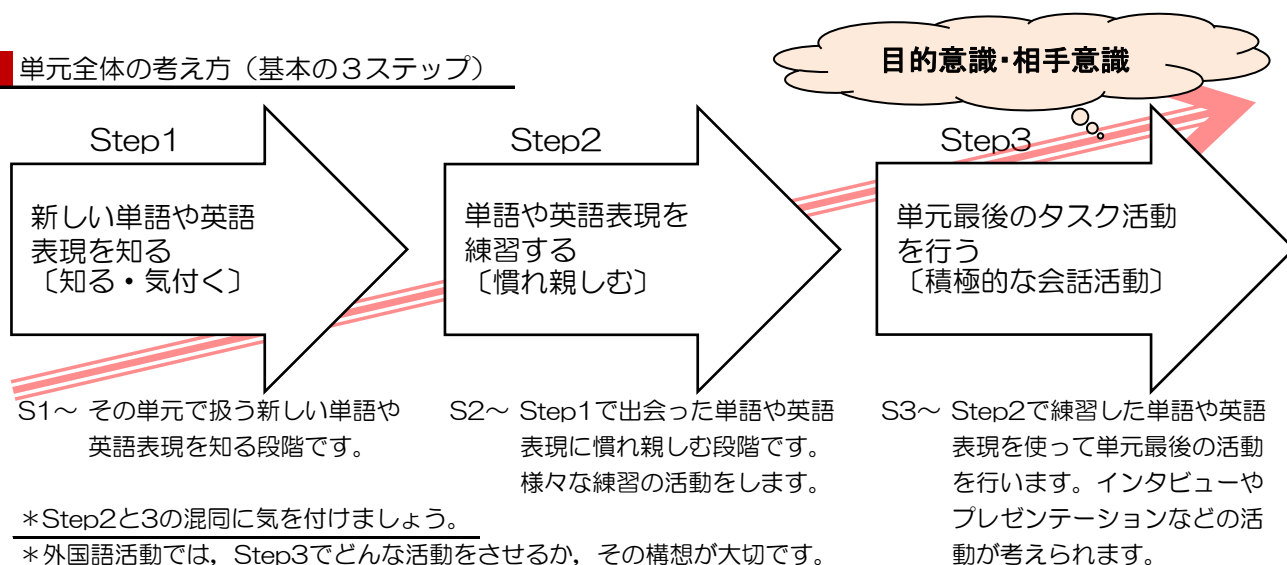
Hi, friends! 単元構成の見方・考え方

先行実施(移行措置)に関する話は連休(GW)明けにまた行うことにして、今回は外国語活動の充実に向けた「基本のキ」を考えてみたいと思います。「Hi, friends! 単元構成の見方・考え方」です。

昨年度も述べたことですが、このことは外国語活動の充実のみならず、5・6年生が「外国語(英語)」という教科になった際にも、基本的には必要な考え方と押さえてよいと思います。英語という「言葉」をゲームの「道具」で終わらせないため、英語は「意味」をもった「言葉」であるということを伝えるため、ここの理解はとても大切です。

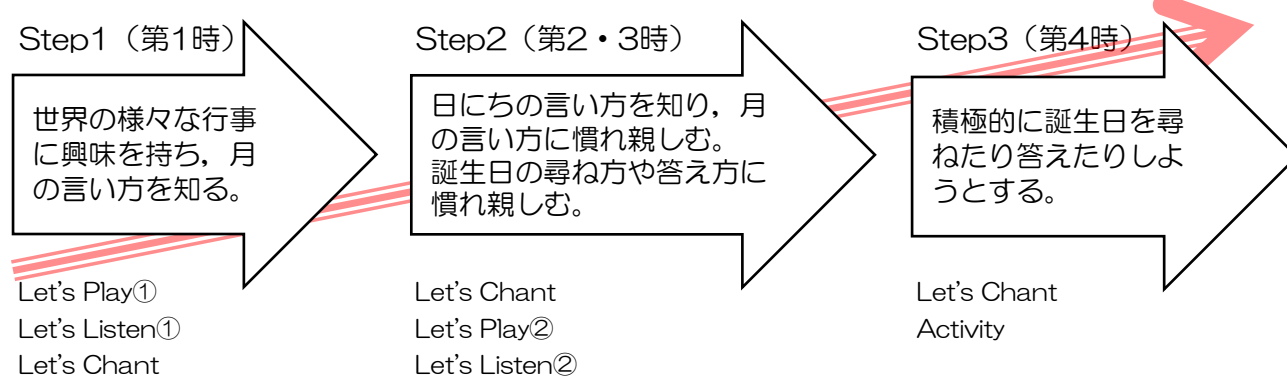
一言でいえば、「基本の3ステップ」を押さえた授業を行うということです(下図参照)。「本時は3ステップのどの段階か、その段階としてふさわしい活動になっているかどうか」をいつも考えながら実施することを心がけましょう。

単元全体の考え方(基本の3ステップ)



6年生 Hi, friends! Lesson2 4時間の実際の構成

Hi, friends!の活動メニューがどの段階に相当する活動例として載っているか見てみましょう。



実際には、Hi, friends!の活動だけでなく、キーワードゲームやミッシングゲーム、ステレオゲーム、ビンゴゲームなど、多彩な活動で自然に単語やフレーズが身に付くように展開したいものです。

Step2の活動が不十分なまま最終のタスク活動に入ってしまうと、例えば「ワークシートに文字がなければ会話活動に自信が持てなかったり、英語表現にカナをふらないと言えなかったり」という姿が見られることになります。

もちろん、英語の文字を提示することは間違いとは言えませんが、外国語活動においては「文字は音声による活動を支えるもの・サポートするもの」という考え方の方がよいのではないのでしょうか。

音声による慣れ親しみの活動を十分に行った上での最終の会話活動ということを、指導者はいつも意識していきたいと思います。

次号では、3～6年生の外国語活動・外国語(英語)年間指導計画例素案の特徴をピックアップして見てみたいと思います。